



防衛装備庁

開催方法

ハイブリッド開催
対面、オンライン同時開催

防衛装備庁

技術シンポジウム 2023

防衛技術指針2023と、
防衛力の抜本的強化につながる研究開発について

プログラム

開催日

令和5年

11/14火・15水

HP

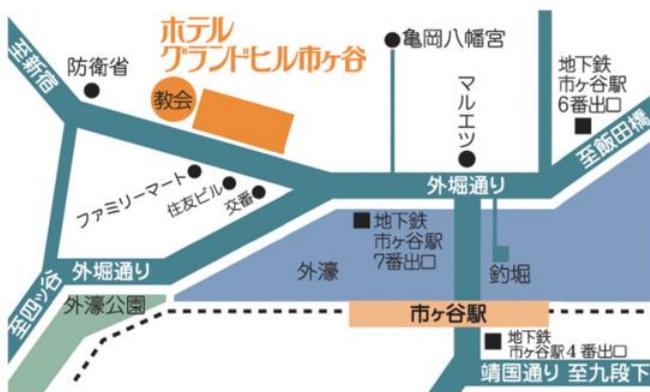
<https://www.mod.go.jp/atla/research/ats2023/index.html>



アクセス JR中央・総武線:「市ヶ谷駅」徒歩3分
都営新宿線:「市ヶ谷駅」4番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線・東京メトロ南北線:「市ヶ谷駅」7番出口より徒歩3分

会場

ホテルグランドヒル市ヶ谷



オーラルセッション 場所:「瑠璃の間」「芙蓉の間(サテライト会場)」
14日(火) 11:00~17:00

時間	演題	発表者
11:00	開会あいさつ	防衛大臣政務官 松本 尚(予定)
11:05	防衛装備庁の取組について	防衛装備庁 長官 深澤 雅貴
11:15	特別講演 「次世代情報通信の最新動向」	東京大学 教授 中尾 彰宏 様
11:45	画期的な装備品の創製を目指して ～先進技術の橋渡し研究～	防衛装備庁 技術戦略部 技術連携推進官 手島 哲郎
休憩 (12:05~13:10)		
13:10	防衛技術指針2023 -将来にわたり、技術で我が国を守り抜くために-	防衛装備庁 技術戦略部 技術戦略課長 藤井 圭介
13:30	装備品等の安定的な製造等に資する 事業計画の認定を受けることで、 必要な経費が国から支払われる制度のご紹介	防衛装備庁 装備政策部 装備政策課 佐古 典也 防衛生産基盤強化法室長
休憩 (10分間)		
14:00	特別講演 「宇宙開発利用と衛星技術の新しい潮流」	東京大学 教授 中須賀 真一 様
14:30	スタンド・オフ防衛能力を支える 誘導武器開発事業の現況	防衛装備庁 長官官房 装備開発官(統合装備担当) 木村 栄秀 防衛技官
休憩 (15分間)		
15:05	防衛技術に関する戦略的取組について	防衛装備庁 技術戦略部長 松本 恭典
15:25	新たな素材等を活用した 先進的な迷彩技術に関する研究	防衛装備庁 次世代装備研究所 先進技術研究部 北中 雄大 情報収集機能研究室 防衛技官
休憩 (15分間)		
16:00	次世代装備研究所における 宇宙・サイバー・電磁波領域への対応について	防衛装備庁 次世代装備研究所 所長 鈴木 茂 防衛技官
16:20	サイバーセキュリティの未来	防衛装備庁 次世代装備研究所 情報通信研究部 安部 龍馬 サイバーセキュリティ研究室 防衛技官
16:40	高出力レーザの研究成果	防衛装備庁 次世代装備研究所 電子対処研究部 松尾 涼人 電子戦統合研究室 防衛技官

特別講演及び研究開発の成果に関する発表では、質疑応答の時間を設ける予定です。

サテライト会場 於「芙蓉の間」

講演内容の中継を2階芙蓉の間にて行っております。講演会場が混雑している際にご利用ください。

オーラルセッション 場所:「瑠璃の間」「芙蓉の間(サテライト会場)」
15日(水) 10:30~17:00

時間	演題	発表者
10:35	水中優勢獲得に向けて ～UUV管制技術に関する研究～	防衛装備庁 長官官房 装備開発官(艦船装備担当)付 第6開発室 防衛技官 鈴木 尚也
10:55	無人機を活用した水中優勢の獲得 —「長期運用型UUV」と「戦闘支援型多目的USV」—	防衛装備庁 艦艇装備研究所 水中対処技術研究部 部長 古川 嘉男 防衛技官
11:15	オープンイノベーションでUUV技術の未来を切り拓く	防衛装備庁 艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価サテライト 無人航走体評価研究室 伊藤 魁 防衛技官
休憩 (11:35~13:00)		
13:00	ゲーム・チェンジャーの早期実用化に資する取組	防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官 萩原 祐史
13:20	戦闘支援無人機を目指して	防衛装備庁 航空装備研究所 航空機技術研究部 栗城 康弘 航空機システム・無人機知能化 研究室長 防衛技官
13:40	爆轟波エンジン ～ローテティング・デトネーションエンジン～	防衛装備庁 航空装備研究所 エンジン技術研究部 高橋 仙一 エンジン先進要素研究室 防衛技官
休憩 (15分間)		
14:15	安全保障技術研究推進制度(防衛省ファンディング)の 狙いと先進技術活用の重要性について	防衛装備庁 技術戦略部 技術振興官 南 亜樹
14:35	4D印刷技術によるスマート・メカニカルメタマテリアルの開発	国立研究開発法人 物質・材料研究機構 宇都 甲一郎 様
14:55	グラフェン等二次元機能性原子薄膜を用いた 光検知素子の基礎研究	三菱電機株式会社 小川 新平 様
15:15	高速移動物体への遠距離・高強度光伝送のための 予測的波面制御の研究	国立研究開発法人 理化学研究所 戎崎 俊一 様
休憩 (15分間)		
15:50	23式信管の開発 ～92式信管を凌ぐ測距原理を利用した信管～	防衛装備庁 長官官房 装備開発官(陸上装備担当)付 第1開発室 1等陸尉 渡部 祥平
16:10	UGVの研究 ～これまでの取組みと将来のビジョン～	防衛装備庁 陸上装備研究所 システム研究部 無人車両・施設 器材システム研究室 防衛技官 岡本 雅弘
16:30	極超音速レーザガン連続射撃への挑戦	防衛装備庁 陸上装備研究所 弾道技術研究部 火力・防護力 評価研究室 防衛技官 田原 芳基
16:50	閉会あいさつ	防衛装備庁防衛技監 市橋 孝浩

研究開発の成果に関する発表では、質疑応答の時間を設ける予定です。

サテライト会場 於「芙蓉の間」

講演内容の中継を2階芙蓉の間にて行っております。講演会場が混雑している際にご利用ください。

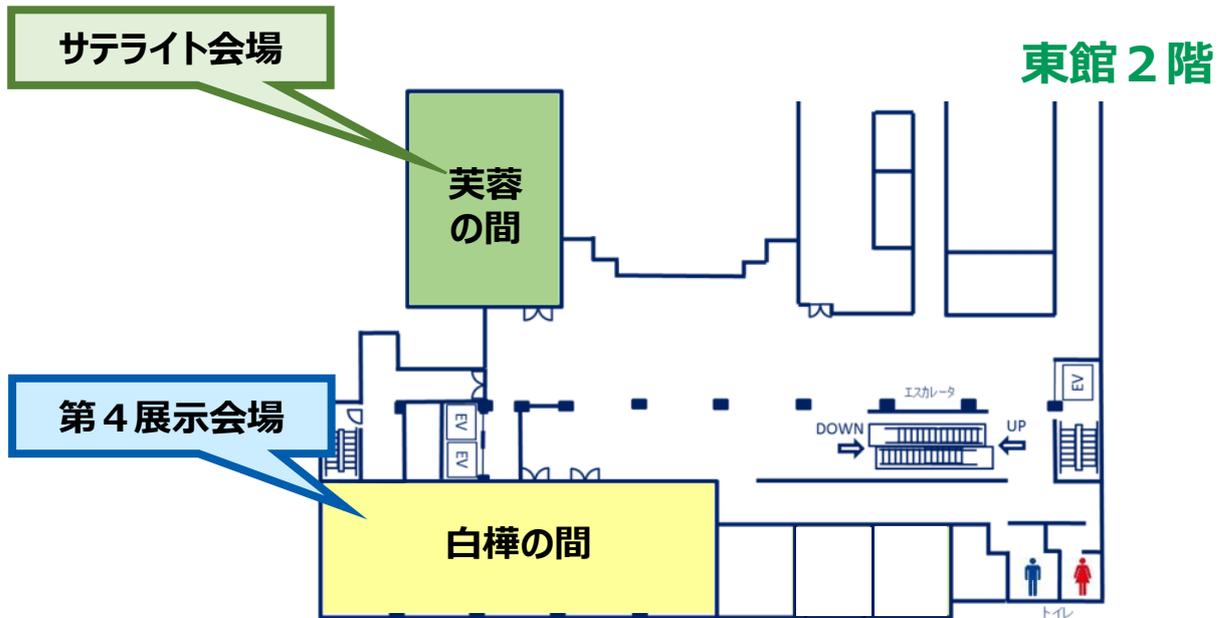
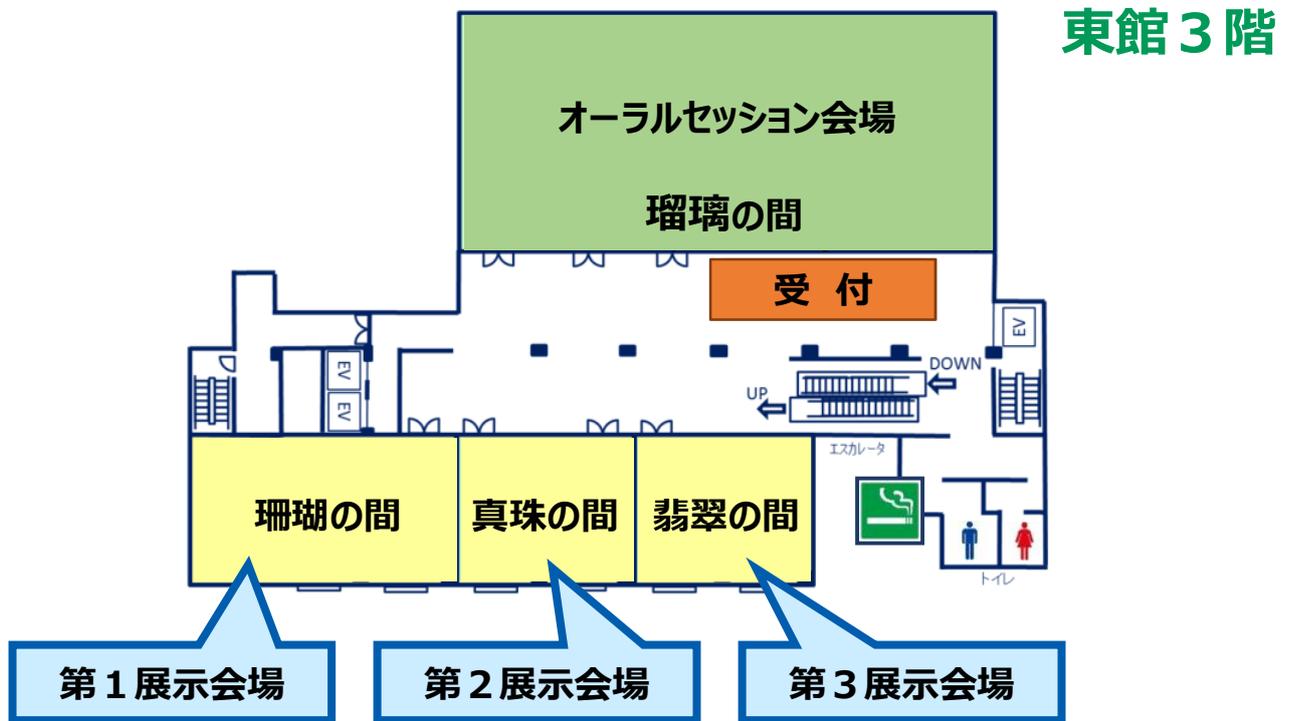
展示一覧 場所:「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「白樺の間」
11月14日(火)及び15日(水) 09:30~17:00

会場	番号	展示件名	展示者
「珊瑚の間」 第1展示会場	P-1	陸上装備研究所広報ビデオ	陸上装備研究所
	P-2	UGV周辺環境認識技術の研究	
	P-3	誘導弾の起爆性能の向上を図る電気式起爆技術について	
	P-4	EMPシステム化技術について	
	P-5	極超音速レールガンの最新研究	
	P-6	機動力と給電機能を両立させるモジュール型ハイブリッド電気駆動車両システム	
	P-7	島しょ環境を模擬した水陸両用車シミュレータによる研究開発のDX化	
「真珠の間」 第2展示会場	P-8	長期運用型UV技術の研究	艦艇装備研究所
	P-9	連続波アクティブソナーの研究	
	P-10	潜水艦構造様式の研究	
	P-11	水中磁気探知技術の研究	
	P-12	海洋の可視化への挑戦!	
	P-13	水中モーションキャプチャを用いた計測環境の構築	
「翡翠の間」 第3展示会場	P-14	次世代装備研究所広報ビデオ	次世代装備研究所
	P-15	スマート暗視センサの研究	
	P-16	短波帯表面波レーダのフォローアップの成果について	
	P-17	ステルス評価のためのRCS計測と精度向上について	
	P-18	高出力レーザの研究成果	
	P-19	人間拡張技術の活用による意思決定・意思疎通促進効果に関する研究	
	P-20	電磁波管理支援技術の研究	
	P-21	日英共同研究 JAGUAR (ジャガー)	

展示一覧 場所:「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「白樺の間」
11月14日(火)及び15日(水) 09:30~17:00

会場	番号	展 示 件 名	展 示 者
第4展示会場 「白樺の間」	P-22	F Cネットワークの研究試作	装備開発官 (艦船装備担当)
	P-23	電波干渉対策に関する設計研究	艦船設計官
	P-24	無人機へのA I搭載技術の研究試作について	装備開発官 (航空装備担当)
	P-25	航空戦闘の智能化を目指して	航空装備研究所
	P-26	遠隔操作型支援機技術の研究の成果について	
	P-27	G N S S / I N S 複合航法装置	
	P-28	適応型ビーム制御誘導方式の研究	
	P-29	極超音速誘導弾に関する研究紹介	
	P-30	ローテイング・デトネーションエンジン供試体	
	P-31	低R C S目標の早期検出技術に関する研究	
	P-32	3次元移動体対処のためのA I技術を適用した目標推定用フィルタ	
	P-33	航空機用構造ヘルスマニタリング技術	
	P-34	電子戦評価施設	
	P-35	安全保障技術研究推進制度(防衛省ファンディング)の紹介	安全保障技術研究推進制度 (技術振興官、技術連携推進官)
	P-36	3次元一体成型によるMEMS半球共振ジャイロスコプの研究	
	P-37	量子干渉効果による小型時計用発振器の高安定化の基礎研究	
	P-38	超小型ナビゲーショングレードIMUおよびその自律航法の研究	
	P-39	新たな研究機関創設について	技術戦略部
	P-40	研究開発事業関連動画	技術戦略課
	□ 2階 ビ ー	P-41	防衛装備庁における研究職の業務内容について

* 会場マップ *



※詳細な配置等は会場にてご確認ください

～ ご来場之际してのお願い ～

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。本シンポジウムをより有意義なものとするため、ご来場の皆様方には以下の点にご留意いただくとともに、円滑な運営にご協力下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 入場の際は、受付において、事前登録サイトからお送りしたメールを御提示の上、名刺（1枚）をご提供ください。
- お忘れの方は、当日受付において受付簿に必要事項を記入の際、身分証のご提示をお願いいたします。
- 受付開始は両日とも9時30分です。他の施設利用者の迷惑にならないよう、受付開始時間前のご来場はご遠慮ください。
- ロビーなど、ホテルグランドヒル市ヶ谷の共用スペースを含む全ての会場内において、他の利用者に迷惑のかかる行為や運営の妨げとなる行為（本シンポジウムの内容と直接関係のない事項に関する質問、誹謗中傷、暴行等）はご遠慮ください。
- 講演中の私語や音を立てる行為はご遠慮ください。
- 講演会場内では、アラーム付の時計、携帯電話等、音の出る機器については電源を切るか音が鳴らないようマナーモードに設定して下さい。
- 講演会場内では、主催者側から事前の許可を得ている場合を除き、写真撮影、ビデオ（動画）撮影、録音等は禁止します。講演会場内で不正に撮影された写真等をインターネット(X等)にアップロードすることは禁止します。
- 展示会場では、特に禁止表示のない展示物、ポスター等の写真撮影は可能ですが、来場者、説明者の肖像権に十分なご配慮をお願いします。また、ビデオ（動画）撮影、録音や通行の妨げになるような大型機材、三脚、自撮り棒等の使用及び撮影データの商用利用はご遠慮ください。（報道機関による取材等で事前に許可を得た場合を除く。）
- 展示品や会場の備品に損傷を与える行為（傷をつける、テープを貼る等）はご遠慮ください。
- 会場への危険物（凶器、発火性のあるもの、爆発物、異臭のするもの等）の持ち込みはご遠慮ください。
- 会場への小型無人飛行機（ラジコン無線機、ドローン等）の持ち込み及び飛行等はご遠慮ください。
- 指定場所以外への立ち入りはご遠慮ください。
- 指定場所以外での喫煙、会場内での飲食はご遠慮ください。
- 次のいずれかに該当する方の入場はお断りいたします。
 - ・凶器その他危険物を所持している方
 - ・酒気を帯びていると認められる方
 - ・ビラ、横断幕、プラカード、旗、鉢巻、のぼり、たすき、腕章、ゼッケン等掲示物の類を持ち示威的行為を行う又は行う恐れのある方
 - ・シンポジウムの運営を妨害したり、他人に迷惑を及ぼす等の会議場の秩序を乱すと認められる方
 - ・その他、司会及び係員の指示に従えない方
- 会場の混雑状況により、入場者数を制限することがあります。
- 司会及び係員の指示に従っていただけない場合はご退出いただき、以降の再入場をお断りする場合があります。
- 会場スタッフから手荷物確認をお願いさせていただく場合がございます。ご理解、ご協力をお願いいたします。



防衛装備庁

お問合せ先

〒162-8870

東京都新宿区市谷本村町5-1

防衛装備庁技術戦略部技術戦略課技術情報室 技術シンポジウム担当

TEL 03-3268-3111 (内線26440)